わが家の擁壁、大丈夫ですか？

大雨や地震に備えて、日頃から点検しましょう

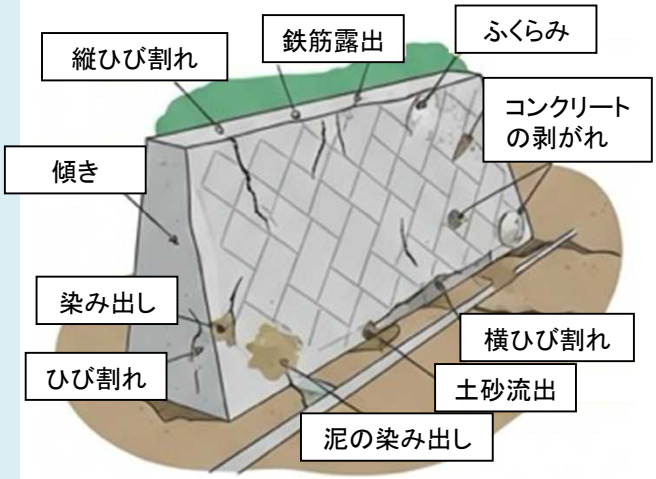


擁壁やがけは、年月の経過や大雨、地震などにより、ひび割れや傾き、排水機能の低下が生じることがあります。
所有者・管理者の皆さまは、定期的に状態を確認し、異常がある場合は専門家へ相談しましょう。

危険を感じたときは、擁壁やがけに近づかず、安全な場所へ避難してください。

1 まずはセルフチェック

次のような変化がないか、安全な場所から目視で確認してください。



1つでも気になる箇所がある場合は、下記のチェックシート等を活用してください。

国土交通省
宅地擁壁について
https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_tobou_tk_000060.html

国土交通省
「我が家の擁壁チェックシート」（案）
https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_tobou_tk_000067.html

2 専門家に相談しましょう

セルフチェックだけで擁壁の安全性を判断することはできません。

ひび割れ、傾き、ふくらみ、漏水などがある場合は、地盤品質判定士、建築士、擁壁に詳しい設計者などの専門家へ相談してください。



専門家への相談に関する情報

一般社団法人地盤品質判定士会
https://hanteishi.org/blunch_select/

一般社団法人日本擁壁保証協会
https://youheki.or.jp/

一般社団法人埼玉建築士会
https://www.ksaitama.or.jp/

次の場合は、特に注意してください。

擁壁が急に傾いた、ふくらんだ
大きなひび割れが発生した
土砂が流れ出している

1 近づかない
2 安全な場所から記録する
3 専門家や市の窓口へ相談する





適切な維持管理に努めましょう

お問い合わせ　和光市役所　建築課
電話 048-424-9134
https://www.city.wako.lg.jp/machizukuri/jyutaku/1005858/1012070/1005863.html